



## 2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年2月12日

上場会社名 丸大食品株式会社  
 コード番号 2288 URL <http://www.marudai.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井上 俊春  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 加藤 伸佳  
 四半期報告書提出予定日 2020年2月14日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 TEL 072-661-2518

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	190,994	1.4	3,500	32.1	3,840	31.8	2,157	18.4
2019年3月期第3四半期	188,313	0.8	2,650	17.7	2,913	16.8	1,821	17.2

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 1,982百万円 (167.9%) 2019年3月期第3四半期 739百万円 (83.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	84.83	
2019年3月期第3四半期	71.48	

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	146,433	77,161	52.3	3,013.30
2019年3月期	132,626	76,094	57.0	2,971.34

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 76,611百万円 2019年3月期 75,575百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期				35.00	35.00
2020年3月期					
2020年3月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	250,000	2.9	3,500	55.3	3,900	43.2	2,050	40.0	80.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2020年3月期の連結業績予想における「1株当たり当期純利益」につきましては、当第3四半期連結累計期間(2019年4月1日～2019年12月31日)に取得しました自己株式を考慮して算出しております。

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	26,505,581 株	2019年3月期	26,505,581 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	1,081,210 株	2019年3月期	1,070,631 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	25,430,056 株	2019年3月期3Q	25,478,714 株

当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しているものの、通商問題を巡る動向など世界経済の減速懸念や、消費税率引き上げによる消費者心理への影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当業界におきましては、消費者の低価格志向は依然根強く、企業間競争の激化や慢性的な人手不足や物流費等のコスト上昇など、一層の厳しい環境が続いております。また、食肉相場につきましては、国産牛肉は軟調な展開となりましたが、輸入牛肉は前年を上回りました。豚肉は、国内外の疫病の影響から、輸入豚肉は非常に不安定に相場が推移し、国産豚肉は足許で前年を上回るなど、相場の先行き懸念が増しております。

このような状況のなか、当社グループは、お客様に、より安全でより安心して召し上がっていただける食品を提供する総合食品メーカーとして、真に社会的存在価値が認められる企業を目指し、「基幹事業の拡大と次なる柱の育成」「商品開発力、技術力の強化」などの基本方針を軸に企業活動を推進してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は前年同期比1.4%増の1,909億94百万円、営業利益は同32.1%増の35億円、経常利益は同31.8%増の38億40百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同18.4%増の21億57百万円となりました。

セグメント別の業績の概況は、次のとおりであります。

## 【セグメント別業績】

(単位：百万円)

	売上高 (注)			セグメント利益		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
加工食品事業	131,861	133,184	1,322 (1.0%)	1,456	2,486	1,030 (70.7%)
食肉事業	56,326	57,698	1,371 (2.4%)	1,124	966	△158 (△14.1%)
その他	124	112	△12 (△10.0%)	69	48	△20 (△30.0%)
合計	188,313	190,994	2,680 (1.4%)	2,650	3,500	850 (32.1%)

(注) 売上高には、セグメント間の内部売上高は含まれておりません。

## 【加工食品事業 売上高内訳】

(単位：百万円)

	売上高		
	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額 (増減率)
ハム・ソーセージ	64,317	61,986	△2,331 (△3.6%)
調理加工食品	67,544	71,198	3,653 (5.4%)

## ① 加工食品事業

ハム・ソーセージ部門では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開幕に先駆けて、「START DASH!!東京2020!応援キャンペーン」などの販促活動を実施しました。東京2020応援特別デザインをパッケージとした「燻製屋熟成あらびきポークウイナー」などの主力商品を中心に販売促進に努めました。また、ボリュームパックタイプの「ロースハム」を引き続き販売強化したほか、リニューアルした上級あらびきウイナーの「プリッとパリッと」シリーズなどを投入し売上拡大に努めました。歳暮ギフトにつきましては、モンドセレクション食品部門において最高金賞を受賞しました商品を中心に詰め合わせた「王覇」「煌彩」シリーズなどの拡販を図りました。これらの施策を行いましたが、根強い節約志向を背景とした価格競争の激化や歳暮市場全体の縮小などから、当部門の売上高は前年同期比3.6%の減収となりました。

調理加工食品部門では、「スンドゥブ」シリーズの販促活動を実施し拡販に努めたほか、「シェフの匠」シリーズなどのレトルトカレー商品の売上高を伸ばしました。また、「サラダチキン切落し」シリーズに「ゆず胡椒」などのフレーバーを新たに追加し、売上拡大を図りました。デザート・飲料類につきましては、新規参入企業が増加するなかで、「TAPIOCA TIME」シリーズなどのブラックタピオカ入り飲料は、通期で前年を上回る売上高となりました。また、前期に立ち上げたコンビニエンスストア向け新工場の本格稼働が増収に貢献しました。以上のことから、当部門の売上高は前年同期比5.4%の増収となりました。

以上の結果、加工食品事業の売上高は前年同期比1.0%増の1,331億84百万円となりました。セグメント利益は、主力のハム・ソーセージ部門が減収となりましたが、調理加工食品部門の増収が寄与したほか、コンビニエンスストア向け新工場の本格稼働により収益力が改善したことなどから、前年同期比70.7%増の24億86百万円となりました。

## ② 食肉事業

牛肉につきましては、ブランド牛肉の販売に注力した国産・輸入牛肉がともに販売数量を拡大、売上高を伸ばしたことなどから、牛肉全体の売上高は前年を上回りました。豚肉につきましては、国内外の疫病の影響による不安定な相場のなか、アウトパック商品を拡大したことなどから、豚肉全体の売上高は前年を若干上回りました。

以上の結果、食肉事業の売上高は前年同期比2.4%増の576億98百万円となりました。セグメント利益は、国産豚肉の収益性が低下したことなどから、前年同期比14.1%減の9億66百万円となりました。

## ③ その他事業

その他事業の売上高は前年同期比10.0%減の1億12百万円、セグメント利益は前年同期比30.0%減の48百万円となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

〔連結財政状態〕

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当第3四半期 連結会計期間末	増減額
総資産	132,626	146,433	13,807
負債	56,531	69,272	12,741
純資産	76,094	77,161	1,066
自己資本比率	57.0%	52.3%	△4.7%

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、年末商戦による季節要因から受取手形及び売掛金が80億41百万円増加したほか、商品及び製品が27億28百万円増加、現金及び預金が11億61百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末に比べ138億7百万円増加し、1,464億33百万円となりました。

負債は、有利子負債が50億55百万円増加、支払手形及び買掛金が47億32百万円増加、未払金が31億95百万円増加したことなどから、前連結会計年度末に比べ127億41百万円増加し、692億72百万円となりました。

純資産は、剰余金8億90百万円の配当やその他有価証券評価差額金2億84百万円の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益21億57百万円の計上などから、前連結会計年度末に比べ10億66百万円増加し、771億61百万円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末から4.7%低下し、52.3%となりました。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,126	2,950	1,824
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,465	△5,565	899
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,105	3,776	△1,328
現金及び現金同等物の増減額	△233	1,161	1,395
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,476	9,288	812

営業活動によるキャッシュ・フローは、運転資金の増加による減少要因がありましたが、減価償却費の計上や税金等調整前四半期純利益の計上などから、29億50百万円増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、生産設備の増強・合理化や品質向上のための固定資産の取得による支出などから、55億65百万円減少しました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いがありましたが、有利子負債の増加などから、37億76百万円増加しました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は、前連結会計年度末から11億61百万円増加し、92億88百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期通期の連結業績予想につきましては、2019年5月14日に発表の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,127	9,288
受取手形及び売掛金	30,699	38,741
商品及び製品	9,242	11,970
仕掛品	591	411
原材料及び貯蔵品	5,937	6,480
その他	1,344	1,934
貸倒引当金	△16	△21
流動資産合計	55,927	68,805
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,333	54,187
減価償却累計額	△36,914	△37,327
建物及び構築物 (純額)	16,419	16,859
機械装置及び運搬具	59,635	63,009
減価償却累計額	△45,965	△48,075
機械装置及び運搬具 (純額)	13,670	14,934
工具、器具及び備品	4,772	4,733
減価償却累計額	△3,088	△3,121
工具、器具及び備品 (純額)	1,683	1,612
土地	18,966	18,392
リース資産	8,649	8,757
減価償却累計額	△3,009	△3,473
リース資産 (純額)	5,640	5,283
建設仮勘定	1,464	935
有形固定資産合計	57,843	58,018
無形固定資産	2,835	3,029
投資その他の資産		
投資有価証券	12,297	11,916
関係会社株式	17	123
長期貸付金	30	25
退職給付に係る資産	—	456
繰延税金資産	317	260
その他	3,484	3,930
貸倒引当金	△127	△133
投資その他の資産合計	16,019	16,580
固定資産合計	76,699	77,628
資産合計	132,626	146,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,058	27,790
短期借入金	6,380	12,950
1年内返済予定の長期借入金	1,927	1,624
リース債務	1,087	973
未払金	8,779	11,975
未払法人税等	488	392
未払消費税等	647	566
賞与引当金	920	301
その他	1,932	2,106
流動負債合計	45,221	58,680
固定負債		
長期借入金	3,971	3,112
リース債務	4,650	4,412
繰延税金負債	1,281	1,600
退職給付に係る負債	718	789
その他	688	676
固定負債合計	11,309	10,592
負債合計	56,531	69,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,716	6,716
資本剰余金	22,086	22,086
利益剰余金	44,912	46,179
自己株式	△2,635	△2,657
株主資本合計	71,079	72,324
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,273	4,989
繰延ヘッジ損益	8	5
為替換算調整勘定	36	38
退職給付に係る調整累計額	△822	△746
その他の包括利益累計額合計	4,496	4,286
非支配株主持分	519	549
純資産合計	76,094	77,161
負債純資産合計	132,626	146,433



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
売上高	188,313	190,994
売上原価	145,634	146,727
売上総利益	42,679	44,267
販売費及び一般管理費	40,029	40,766
営業利益	2,650	3,500
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	161	172
不動産賃貸料	140	125
その他	264	332
営業外収益合計	579	643
営業外費用		
支払利息	160	163
その他	154	140
営業外費用合計	315	303
経常利益	2,913	3,840
特別利益		
固定資産処分益	8	132
投資有価証券売却益	273	6
特別利益合計	281	139
特別損失		
固定資産処分損	122	247
減損損失	27	66
製品自主回収関連費用	—	40
損失補償金	56	—
投資有価証券評価損	1	—
特別損失合計	208	353
税金等調整前四半期純利益	2,987	3,625
法人税、住民税及び事業税	936	973
法人税等調整額	193	460
法人税等合計	1,130	1,434
四半期純利益	1,856	2,191
非支配株主に帰属する四半期純利益	35	34
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,821	2,157

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	1,856	2,191
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,330	△284
繰延ヘッジ損益	△1	△3
退職給付に係る調整額	216	76
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	1
その他の包括利益合計	△1,116	△209
四半期包括利益	739	1,982
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	704	1,947
非支配株主に係る四半期包括利益	35	34

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,987	3,625
減価償却費	4,737	4,939
減損損失	27	66
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	11
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△66	△283
受取利息及び受取配当金	△174	△185
支払利息	160	163
投資有価証券売却損益(△は益)	△273	△6
投資有価証券評価損益(△は益)	1	—
固定資産処分損益(△は益)	114	114
売上債権の増減額(△は増加)	△10,131	△8,047
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,187	△3,086
仕入債務の増減額(△は減少)	4,853	4,720
未払消費税等の増減額(△は減少)	38	△81
未払金の増減額(△は減少)	2,792	3,360
その他	△1,276	△1,697
小計	1,606	3,614
利息及び配当金の受取額	312	335
利息の支払額	△154	△155
法人税等の支払額	△611	△662
特別退職金の支払額	△26	△181
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,126	2,950
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△26	△27
投資有価証券の売却による収入	460	21
固定資産の取得による支出	△7,163	△5,634
固定資産の売却による収入	282	338
その他	△18	△264
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,465	△5,565
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	8,070	6,570
長期借入金の返済による支出	△1,040	△1,161
リース債務の返済による支出	△721	△715
配当金の支払額	△1,019	△890
自己株式の取得による支出	△178	△21
その他	△3	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	5,105	3,776
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△233	1,161
現金及び現金同等物の期首残高	8,709	8,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,476	9,288

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

第3四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	131,861	56,326	188,188	124	188,313	—	188,313
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	628	628	△628	—
計	131,861	56,326	188,188	753	188,942	△628	188,313
セグメント利益	1,456	1,124	2,580	69	2,650	—	2,650

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては27百万円であります。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	加工食品 事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	133,184	57,698	190,882	112	190,994	—	190,994
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	606	606	△606	—
計	133,184	57,698	190,882	718	191,600	△606	190,994
セグメント利益	2,486	966	3,452	48	3,500	—	3,500

(注)1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代行事業等を含んでおりません。

2 報告セグメントの利益計とその他事業セグメントの利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

各セグメントに帰属しない賃貸等不動産について、回収可能価額の低下に伴う減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては66百万円であります。